

岡山市 今保・白石地区
下水道床上浸水対策事業計画

計 画 書
(第2回変更)

令 和 5 年 11 月

岡 山 市

(様式 1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>対象地区である今保・白石地区は岡山市中西部に位置し、東は二級河川笹ヶ瀬川、南は二級河川足守川と、河川に囲まれた位置に立地している。洪水時に上流から運搬してきた土砂により形成された沖積平野に位置し、朔望平均満潮位よりも低い、いわゆるゼロメートル地帯が広がる浸水被害に脆弱な地形である。</p> <p>中央には緊急輸送路に位置づけられる県道岡山倉敷線があり、これに沿って市街地が形成され、急速な都市化が進んでいる。</p> <p>対象地区は、工業施設や避難所、要配慮者施設等も立地しており、生命の保護、都市機能の確保の観点から、早急な浸水対策が求められる。</p> <p>なお、当該地区は平成30年7月豪雨の際、24時間降雨量197mm、既往最大となった48時間降雨量306.5mmを記録し、浸水被害としては床上浸水190棟、床下浸水937棟が発生しており、要件に該当する。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：平成 30 年 7 月豪雨における実績降雨 197mm/24hr、306.5mm/48hr ・目標とする理由：対象地区において広範囲の浸水被害を発生させた、平成 30 年 7 月に今保排水区で記録した既往最大降雨 ・ハード整備による整備水準の目標：10年確率降雨53mm/h <p>②目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i)生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設 2 1 箇所の床上浸水の低減を目指す。 ii)都市機能の確保の観点：工業施設、避難所等における床上浸水の低減を目指す。 iii)個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水の低減を目指す。 iv)その他：特になし <p>③ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i)ハード対策 施設整備により 197mm/24hr の降雨において、床上浸水の低減を目的とする。 ii)ソフト対策及び自助 民間設置の雨水貯留施設や戸別雨水タンク、止水板の設置を促進するとともに、行政による設置に対する助成や、土のう配布などを、それぞれの主体が対策を実施することにより、目標水準を超える降雨についても被害低減を目指す。

項目	内容・施策等			
内水ハザードマップ策定状況	有(平成28年6月3日策定済み)			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・雨水ポンプ場の整備：2箇所
		ソフト対策	下水道管理者	・内水ハザードマップの配布 ・各戸貯留の設置促進 ・開発等行為に係る雨水流出抑制施設の設置促進(岡山市戸別雨水流出抑制施設設置補助金交付要綱) ・止水板設置促進(岡山市止水板設置助成制度)
			下水道管理者以外	・岡山市浸水対策の推進に関する条例並びに条例施行規則を施行(岡山市全体) ・『岡山市浸水対策基本計画2019』を策定(岡山市全体) ・土のうの配布(河川防災室) ・用水路の水位事前調整(農林水産振興課と下水道管理者との連携)
	自助	ハード対策	市民、事業者	・土のう、止水板等の設置 ・各戸貯留施設、雨水流出抑制施設の設置
		ソフト対策	市民、事業者	・避難所、避難経路等の確認 ・自主防災会の防災活動の活性化

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

年度計画(百万円)

名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
今保ポンプ場	60	957	1,337	341	250	2,945
白石ポンプ場	64	749	1,408	340	250	2,811
計	124	1,706	2,745	681	500	5,756

備考) 事業内容に位置つけた施設について年割額(事業費)を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p><事業評価の内容></p> <p>被害額：10,907 百万円が削減される。</p> <p>B/C：1.3</p> <p>経済的内部収益率：6.5%</p> <p>ソフト対策，自助の整備効果等：</p> <p>局地的な低地やくぼ地に対し、仮設ポンプの貸し出し、土のうや止水板設置の支援を行うことで、浸水被害を防除・軽減する。</p>
放流先河川との調整状況	<p>対象地区の放流先は、岡山県管理の二級河川笹ヶ瀬川である。河川の流下能力、整備状況により制約を受けるが、河川管理者との協議により、放流同意済みである。</p>
その他	<p>岡山市では、浸水対策を推進するにあたっての基本理念を定め、市・市民・事業者の責務を明らかにするとともに浸水対策を推進するための基本事項を定めた条例『岡山市浸水対策の推進に関する条例』を平成 29 年 4 月に施行した。</p> <p>本計画では、市によるハード整備に加え、低地建物等への浸水防止及び自助促進のため、止水板の設置に対する助成を行う。</p>

(様式 2)

管 渠 調 書							
管渠の名称	排水区 の名称	合・雨 の別	主要な管渠内法寸法 (ミリメートル)	延 長 (メートル)	概算事業費 (百万円)	工 期	備考
雨水幹線	今保排水区 (高段系)	雨	U2, 200×1, 200 ~U2, 000×1, 200	242	—	整備済	今保 3 号
	今保排水区 (高段系)	雨	U1, 100×1, 800 ~U3, 500×1, 100	696	—	整備済	今保 7 号
	今保排水区 (高段系)	雨	U2, 600×850 ~U3, 000×1, 000	656	—	整備済	今保 9 号
	今保排水区 (高段系)	雨	U2, 000×900	240	—	整備済	今保 11 号
	今保排水区 (高段系)	雨	U3, 500×600 ~U3, 700×1, 000	419	—	整備済	今保 12 号
	今保排水区 (高段系)	雨	U2, 300×800 ~U2, 500×1, 000	294	—	整備済	今保 13 号
	今保排水区 (高段系)	雨	U2, 000×1, 000	47	—	整備済	今保 16 号
	今保排水区 (高段系)	雨	U2, 500×800 ~U2, 200×1, 300	342	—	整備済	今保 17 号
	今保排水区 (高段系)	雨	U1, 800 ×1, 400~1, 750	390	—	整備済	今保 18 号
計							

ポンプ施設, 降雨・雨水排除情報提供施設調書						
ポンプ施設の名称	ポンプ施設の位置	敷地面積 (アール)	1分間の揚水量 (立方メートル分)	概算事業費 (百万円)	工 期	備 考
今保ポンプ場 (高段系)	北区今保	20.8	256	2,945	R02~R06	
白石ポンプ場 (高段系)	北区白石	19.8	256	2,811	R02~R06	
小計				5,756		

名称	年次計画及び年割額					計
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
今保ポンプ場	60	957	1,337	341	250	2,945
白石ポンプ場	64	749	1,408	340	250	2,811
計	124	1,706	2,745	681	500	5,756

備考

- 1 調書に位置づけた施設について年割額（事業費）を記入する。
- 2 整備済のものは含めない。